

★会員各位：住所変更，御担当者変更などの変更事項がございましたら，事務局まで御連絡頂けますようお願い致します。

1DAY PAVE + バルチップMKを施工

～セメント新聞とコンクリートテクノの記事として掲載～

3月26日(土) 早期開放型コンクリート舗装『1DAY PAVE』にバルチップMKを使用して打設しました。

その内容がセメント新聞社の『セメント新聞(4・4配信)』と『コンクリートテクノ5月号』に掲載されました。対象は弊社物流センターの大型車両駐車場の補修工事。アスファルト舗装の損傷により、長期供用を図るためコンクリート舗装への打ち換えを行いました。

鉄筋やワイヤーメッシュの省略で打設が1日で終了。

午前中にアスファルトを研り、14:00に打設スタート。運搬トラブルと『1DAY PAVE』に慣れていないこともあり、打設困難なこともありましたが、流動化剤で対応し、18:00には無事に全作業が終了。

バルチップを使用することで鉄筋・ワイヤーメッシュの敷設作業が短縮され、研り作業から打設の全行程を1日で終わらせることができました。1DAYで開放となるため、翌週月曜日には何事もなく、倉庫使用ができました。

施工情報

- 工事名：物流センター3号倉庫前補修工事
- 施工者：(株)伊田組
- 生コン工場：白石建設(有)
- 施工面積：66㎡(12m×5.5m)
- 床厚：150～200mm
- 打設量：11㎡
- 繊維：バルチップ MK3500dt-30mm
- 混入率：0.4Vol%(3.64kg/㎡)



研りの様子



打設作業



打設作業



使用の感想

メリット 翌日解放できるので、土木の緊急工事、民間では工場/倉庫の補修で、稼働を出来るだけ止めたく無い時に、1DAY PAVE + バルチップが有効と感じた。

注意点 速硬なので、十分な施工人員の手配や計画組みが必要。輸送時間もポイントで、距離が遠い場合は流動化剤を準備しておいた方が良い。現場担当者



打設2日後

記事内容

打設を終了して関係者は「現場でバルチップをミキサー車に投入するだけで繊維補強されたコンクリート舗装が施工できる。ドラムからの排出、荷卸し後の敷均し作業も通常の生コンと同様にできた。ただドラムを洗浄した排水は混入した繊維の対策が必要となる。鉄筋・鉄網のセット作業を省略できるため作業時間の短縮と現場管理の軽減が図られる」と総括した。

※コンクリートテクノ 記事抜粋

1DAY PAVEはどちらかといえば補修に適した舗装。これまでは試験施工が多く、作業時間が確保できるケースが多かった。今後実用化が進むにつれて、施工時間に余裕がない事例が増えてくると見られる。鉄筋を使用しなくても施工できる、繊維補強型の1DAY PAVEの適用性は高いと見られる。

※セメント新聞 記事抜粋

★1 DAY PAVE★

- コンクリート打設後、1日で養生を終えることが可能な早期交通開放型コンクリート舗装。
- 現場練りではなく、生コン工場から出荷できることが特徴。
- 重交通道路の交差点など、長期にわたって通行止めできない所に適している。

各地から1DAY PAVE + バルチップに関する問合せも少しずつ増えてきています。

今回の実績をもとに1DAY PAVEへのバルチップ提案を宜しくお願い致します。